



平成25年12月15日

2	3	面	特集	体協50周年記念
4	面	「但唱上人」再会の旅		
5	面	みんなで仲良く 青年の家だより		
6	面	スポーツ・情報 ひと・まつかわ大学		
7	面	こどもの詩・短歌・川柳 視点・声・ペンべん草		
8	面			



まつかわ百景 ⑦

「霧の朝」(古町)

物みな凍てつく霧の朝。静寂を破るように太陽が顔を出す。

「自ら学ぶ意欲を持って参加し、多方面にわたる知識を身に付け、生涯にわたって豊かな生活が営める」ことを目的とした「まつかわ大学」も今年で8期目を迎えました。年々参加者も増え、現在196名の方に受講者登録をいただいています。運営に携わるものも、公民館・各種団体の他に今年度から4名の公募委員に加わっていただけて運営しています。「まつかわ大学」は、開講当初から年に4回開催され、毎回各界の著名人やその道に精通した方々を講師としてお招きし、多方面にわたる生涯学習の場を提供してきました。

今年度の第1回は、テレビタレントの山田邦子さんにお願いしました。「大丈夫だよ、がんばろう！」と題して、ご自身のガンの闘病生活を軽妙な語り口で明るく話してくれました。会場を埋め尽くした400名を超える聴衆も、大いに笑い時には涙して、心休まる楽しいひとときを過ごすことができました。

第2回は、パートの駅弁売りから管理職に華やかに転身された三浦由紀江さんの「仕事は楽しく、自分に限界を作らない」

主張

自ら学ぶ意欲を持って

第3回は、世界中を旅して歩くエッセイストのたかのてるこさんの「旅に出て、世界中の人と笑いあおう！」。お二人とも何度もテレビ出演されたり、著作や講演活動も数多くこなされている方ですが、型にはまらない行動力や前向きな生き方には、深く感動し大いに魅了させられました。

今年の講演の4回のうち3回が女性講師、受講者4分の3が中高年女性、まさに女性パワーを感じる1年でした。一方受講者の中には小学生から90歳を超える高齢の方の参加もあり、お一人お一人が真に「自ら学ぶ意欲を持って参加」されていることを毎回強く感じてきました。

第4回目は2月22日に、菊池聡さんの信州大学出前講座「だまされる心の心理」が計画されています。大勢の方のご参加をお願いします。また、今月行われる「まつかわ大学運営委員会」では次年度の講師について協議します。候補に挙げられている講師も、素晴らしい方々です。ご期待いただきたいと思えます。

まつかわ大学運営委員長
野原 廣人

めざして！ につとめたい



松川町体育協会発足 50周年記念式典

11月23日、松川町体育協会発足50周年記念事業の1つである「三四六さん講演会」が行われたあと、来賓のみならず、多くの関係者が参加して記念式典が開催されました。

大野会長より、50年の長きにわたり多くの皆様から寄せられたスポーツ振興への御尽力に対し、お礼が述べられました。また、今後生涯スポーツを通じて体育振興に努めたい、と力強いあいさつがありました。

その後、功労者表彰があり「松川町体育協会発足50周年を確かな節目にしていこう」と提言も発表され、結束の強さの感じられた式典となりました。

松川町体育協会発足 50周年記念 功労者表彰

鎌倉 貞人

松川町体育協会会長を10年歴任。

松井 章

松川町体育協会会長を8年歴任。

神村 憲好

松川町体育協会会長を6年歴任。

野神 善造

ソフトボール競技の技術向上と発展

松尾 勝司

ソフトボール競技の技術向上・発展と、女子ソフトボールの普及

唐澤 富元

卓球競技の基礎となるクラブの立ち上げや大会開催など、卓球の発展

望月 正則

卓球競技の発展と、ラージボール卓球の普及

宮下 彰

県市町村対抗駅伝松川町チーム及び県下縦断駅伝監督を歴任。

小池 誠

県市町村対抗駅伝松川町チーム及び県下縦断駅伝監督を歴任。

前田 大介

シドニー、アテネパラリンピックスに出場。アテネで銀メダルを獲得。

松川町体育協会発足50周年を確かな節目にしていこう(提言)

本体育協会は昭和37年、下伊那地域に先駆けて、社会体育の重要性を考え、平素、体育に遠ざかっている人たちまでを含めた幅広い活動展開の必要性を感じ、町内既設の各体育クラブを主体として発足しました。

発足から50年、スポーツを取り巻く環境は大きく変わり、各種目の盛衰の影響を受ける中で、本体育協会も会員の拡大縮小を繰り返しながら、しかし、継続的に活動を推進してきました。

また、この50周年という節目を迎え、今まで本体育協会が歩んできた道のりを振り返るとともに、今より更にスポーツを自分の生活の中に取り込んでいけるような社会を目指し、記念事業を推進してきました。

ここで、将来の松川町のスポーツ振興への、本体育協会の使命を今一度確認するとともに、私たち自身に、これからの本体育協会のあり方を問いかけ、考えていくために、提言を行います。

- 一. 私たち体育協会員は、それぞれが所属する競技を愛し、私の生涯スポーツとしてとらえ、生涯現役を目指します。
- 一. 私たち体育協会員は、地域住民のための大会、教室等を開催し、スポーツ人口を拡大するとともに、協会員を増加を図ります。
- 一. 私たち体育協会員は、体育協会理事会と協力し、各所属のクラブの強化を図ります。
- 一. 私たち体育協会員は、新しいスポーツの芽が育つとき、体育協会新加盟も視野に入れ、支援を行います。
- 一. 私たち体育協会員は、子どもたちにとってスポーツを楽しむことのできる環境づくり、基盤づくりを推進します。
- 一. 私たち体育協会員は、町が行う諸事業、諸施策に対し、協力します。

平成25年11月23日

松川町体育協会



松川町体育協会長
大野 幸洋

生涯現役を スポーツ振興

式典に先立ち、テレビやラジオでお馴染みの三四六さんによる、「年中夢求」と題した講演と、子どもを対象にした柔道の実技指導が行われました。

三四六さんは柔道4段、小学校の頃から柔道を始め、全国中学選手権大会優勝、五輪強化指定選手にも選出された実力者です。現在はテレビやラジオの出演、歌手として活躍されるとともに、柔道の指導者としてスポーツの分野においても力を発揮されています。会場に登場した三四六さんは想像していたよりも小柄な方でしたが、ハキハキとした大きな声で会場の寒さを吹き飛ばすような「熱い」印象はテレビそのまま、会場中をひきつけました。

講演では、「礼に始まり、礼に終わる」柔道は、相手のことを常に考えているスポーツであることを教えていただきました。「相手」に勝つためには、今までの「自分自身」に勝つことも必要で、今までの自分を乗り越えることは一人ではできないため、それに付き合ってくれている相手には常に感謝の気持ちを持つということです。そのため、三四



「熱い」メッセージに聞き入る参加者

「強い」とは「敗者の気持ちに寄り添うことができること」
それを「優勝」という言葉を使って三四六さん流の解釈で教えていただきました。
柔道をしている子ども達だけでなく、大人も三四六さんの熱いメッセージの一つ一つにうなずきながら聞き入っていました。

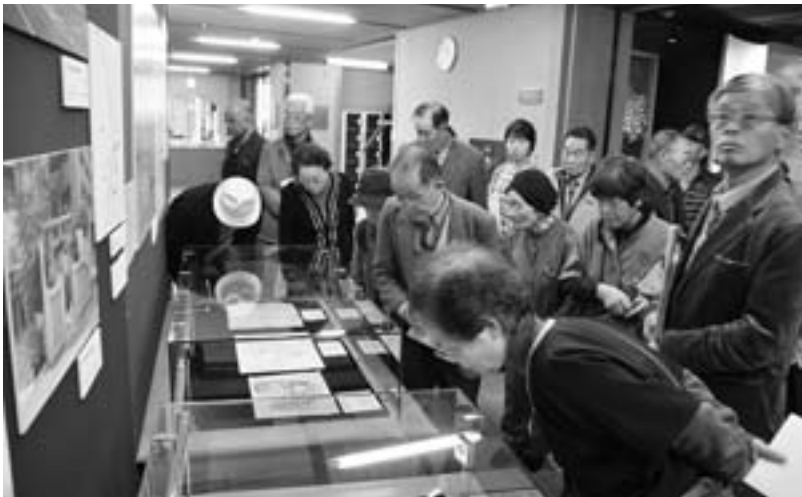


三四六さん



実技指導をしてくれる
三四六さん





大島ゆかりの木食行者 「但唱上人」再会の旅

都立品川歴史館特別展

木食行者、但唱上人が開いた寺と但唱上人の事跡を紹介した特別展が東京の品川区立歴史館で開催されました。松川町からも関係資料が展示され、資料館・史学会共催で特別展覧と関係寺院探訪の旅が11月19、20日に行われました。

江戸時代の初期、大島西山の山中に籠り、万民の救済を願い、仏像を彫っていた但唱という聖がいました。二万休

作仏の誓願を果たした但唱上人は巨大な如来を五体造り（五智如来）、山吹の小沼から筏で天竜川を下し、河口の掛塚で廻船に積み換え江戸に運び、品川に帰命山如来寺という寺を開きました。

◇

品川の歴史館では大井に所在する養玉院如来寺と、この寺の開山、但唱上人の特別展を開催しました。養玉院如来寺は明治時代に但唱上人の帰命山如来寺と他の寺が合併したものです。

如来寺の本尊は但唱上人が大島西山で刻んだ巨大な五智如来でしたが江戸の大



現在の五智如来は宝暦年間に再興されたものです。当時、品川の大仏（おおぼとけ）は江戸の名所で、如来寺門前は今の浅草のような賑わいであったと記録されています。

この寺と但唱上人の特別展には、何とんでも但唱上人が大島西山にいたこと、ここで本尊の五智の大仏を刻んだことを記す大島の古文書や絵図が重要な資料となります。歴史館の求めに応じ、町から関係資料が展示され、私たちは招待という形で入館することができ、全国から集められた貴重な資料を十分に観覧することができました。

町の資料館が開館して10周年の平成14年、資料館では但唱上人の事跡を紹介した特別展を開催しています。それから10年余、品川の地で再び但唱上人とお会いできたわけで、

切丁寧な解説をいただき、より但唱さんが偉大で、また身

近に感じられる一日となりました。

但唱上人 開山の帰命山如来寺（現養玉院如来寺）、浅草の浅草寺を拝観して宿泊、翌日は但唱上人が師匠彈誓と師弟の契約を結び、石彫の技を習得した伊勢原の淨発願寺や、但唱上人が多くの石仏を刻んだ真鶴



この旅に参加された皆さんの喜びはひとしおのようでした。

この特別展担当の湯本幸子学芸員による懇

（松川町資料館）

の岩如来寺洞窟を拝観しました。この旅を通じ、民衆救済に一生を捧げた但唱上人、とりわけ子どもなどの弱者に暖かい眼差しを向けた但唱上人が大島と深い関わりのあることを改めて認識するとともに、彼ら聖の「心」を大切に受け継ぐ必要を実感しました。

問題
考える
みんな
で
権考
人を
仲良
く

はた健二さんの
こころの演会の感想

中央小4年 小山 夕輝

ぼくは、いじめをしてはいけないと思いました。なぜそう思ったかと言うと、学校であつた、はた健二さんのこころの演会でお話をお聞きしたからです。

健二さんはいじめをけい験したことがあるので、いじめのおそろしさを教えてくれました。「いじめは人の命までうばってしまう」ぼくは、それを聞いて、いじめを追放するべきだと思いました。

感動した所は、みんながばかにしていた病気を、しょうがいを持った人たちはばかにしないでやさしくしてくれたという所です。ぼくもじょうがいを持つ人をばかにしないようにしたいです。

すごいと思った所は、いじめられてもばかにされても自殺をしなかつた所です。ぼくは、自殺をすることはかい決にながらないと思うから、自殺はよくないと思います。

じつじついじめちゃ
いけないか
中央小4年 下沢 真弓

今日は、実さいにいじめにあつて苦しんだ、はた健二さんがお話してくれました。

わたしは、チック症を初めて知りました。始めに健二さんが「ヒック」と高い声で言ったのでわらつてしまいましたが、チック症のことをあとから聞いて、わらつたことを後かいました……。

その後、いじめにあつていた子どものころの話をしてくれました。それを聞いて、わたしは、「いじめつてこわいな」と思いました。わけは、無しをされたり、つくえをはなされたり、ぼう力をふるわれたりしていたと話してくれただからです。わたしは、人にされていやだと思うことは、人にもしてはいけないということがわかりました。

最後に、健二さんが「もしいじめられたらぼくに言つて下さい。だれがなんと言おうと、ぼくは絶対に助けに行きます！」と言つてくれて、少し安心しました。そのことがとても心に残つています。

わたしもそういう心を持ちたいと思います。

生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

(その二十六)

サワガニ観察と採集

タラバガニ・ズワイガニ・ワタリガニなどカニの美味しい季節になりました。これらはすべて海に住んでいるカニで、川にはたつた1種類のカニしか住んでいません。その名前は「サワガニ」。大人の方なら子どもの頃、近所の小川で捕まえて遊んだり冬にはこれをからあげにして食べたりの思い出があるに違いありません。

私たちにとつて身近なサワガニも、コンクリート主体の河川改修が進んだことによつて、最近では捕まえることはもちろん、姿を見ることさえ難しくなつてきました。ところが、当町でサワガニがたくさんいる谷川を見つけたので、捕つたり観察したりしてサワガニと友達になつてもらおうと、この講座を開催しました。

石の下にサワガニが

海の砂浜で貝を採つたり小ガニを追いかけたりするつもりで参加した子どもたちは、



山の谷川で

あまりにも山の中なので「カニがこんな所にいるの?」と最初はげげんそう顔をしていました。

クモの巣が張り木の枝が茂つている川には、サラサラ流れる水の中に大小様々な石があるだけで、砂場もなくカニもどこにも見当たりません。そこで、私が石をどかして、下に隠れているカニを捕る様子が見てもらおうと、みんな要領が分かつたらしく、サワガニ捕りが始まりました。

最初は流れの中の小石をどかしては網の中に2〜3mmの小ガニがいつぱい入るのを喜んでいました。ところが、大きな石をどかした子が、突然

「わあ、大きいカニ。」と言つて捕まえたのを見ると、みんなも負けじと大きな石をどかし始めました。こうして、だんだん大きいカニも捕れるようになりました。中にはカニを見つけても「いた、いた。」と騒いでいるだけで、はさみ

が怖くてなかなか手を出せない子どももいましたが、お父さんに「後ろから持てば大丈夫」と教えてもらい勇気を出して捕まえているうちに、だんだん自分で捕まえられるようになりしました。

カニの観察や飼育も

1時間も経たないうちに、ほとんどの家族の入れ物には20匹以上のカニが入つていました。その頃になると、出発前に私がお話した「オスとメスの見分け方」や「オスのはさみの大きさは右と左では違う」ことを参考に、「これはメスだ。」とか「このオスのはさみは右が大きい」と、カニの詳しい観察が始まりました。

「家で飼つてみたい」という方には数匹を持ち帰つてもらつたので、今でも各家庭の水槽の中で元気な姿を見せてくれていることでしょう。



こんなにとれたよ

スポーツで 体をあたたためよう!!

第17回町長杯争奪 まつかわの里 マレットゴルフ大会

10月22日(火)に清流苑マレットゴルフ場にて、第17回町長杯争奪まつかわの里マレットゴルフ大会が行われました。結果は次のとおり。

△男子の部▽

- 優勝 大場 邦治
- 準優勝 山田 博司
- 第3位 大木島 巖
- 第4位 細田 英男
- 第5位 北原 盈

△女子の部▽

- 優勝 中山フキ子
- 準優勝 伊東寿美子
- 第3位 山口 愛子
- 第4位 松尾 節子
- 第5位 高田よし子

松川町ダブルス バドミントン大会

11月24日(日)に町民体育館にて、松川町ダブルスバドミントン大会が行われました。結果は次のとおり。

△男子の部▽

- 優勝 佐々木章吾・宮下 雄樹 (ジョイフル)
- 準優勝 五味 克仁・保坂 隆行 (福与B C)
- 第3位 山田 和浩・中島 和希 (ジョイフル)

△女子の部▽

- 優勝 大柏チーム
- 準優勝 城山クラブ
- 第3位 宗源原チーム

松川町 ソフトボール 総合選手権大会

11月4日(月)に町営グラウンドにて松川町ソフトボール総合選手権大会が行われました。結果は次のとおり。

△男子の部▽

- 優勝 橋本 誠・塩沢 源市 (福与B C)
- 準優勝 小池 久男・小林 駿 (上片桐B C)

町民体育館の耐震補強についてのお願い

町民体育館の耐震補強につきましては、当初の工事時期を11月末から1月末まで予定していましたが、実施設計遅延のため、工事開始が予定より遅れることとなりました。

現時点での工事時期としては、1月20日(月)から3月中旬の約2ヶ月間を予定しています。工事は、アリーナ、柔道・剣道場とトレーニングルームを同時に行います。

なお、体力相談室、音楽室は工事期間中もご利用いただけます。また、工事期間の変更に伴い1月19日(日)までは町民体育館全て使用できません。

正式な工事期間が決まり次第、改めてご案内いたします。

工事期間を変更したことで、利用される皆様に多大なご迷惑をおかけすることに対しおわびを申し上げますとともにご理解、ご協力をお願いいたします

社会教育施設の1月の一斉受付についてのお知らせ(お願い)

社会教育施設 1月の一斉受付は6日(月)

午前7時45分より行います。

中央公民館では、毎月の初日に社会教育施設の一斉受付をしています。1月は仕事始めが6日(月)になることから、誠に勝手ながら4日(土)の受付窓口はお休みさせていただきます。

なお、施設は4日(土)からご利用いただけますので利用者の皆様はお間違えのないようお願いいたします。

対象施設

- | | |
|-----------|--------|
| 中央公民館 | 町民体育館 |
| 名子原体育館 | 福与体育館 |
| 運動公園グラウンド | テニスコート |

お問合せ先 中央公民館 ☎36-2622

- 第3位 松上 勇・小池 洋 (福与B C)
- △女子の部▽
優勝 丸山さなえ・丸山 栄子 (名子クラブ)
- 準優勝 丸山さなえ・丸山 栄子 (名子クラブ)
- 第3位 日野 美香・小倉絵里香 (福与B C)
- 第3位 山岸 香・松上 霞 (福与B C)
- △女子の部▽
優勝 大柏チーム
- 準優勝 城山クラブ
- 第3位 宗源原チーム
- △男子の部▽
優勝 佐々木章吾・宮下 雄樹 (ジョイフル)
- 準優勝 五味 克仁・保坂 隆行 (福与B C)
- 第3位 山田 和浩・中島 和希 (ジョイフル)

平成25年度 松川早起き野球

12月2日(月)に平成25年度松川早起き野球の閉会式が行われました。

△リーグ戦▽

- 1位 宗源原
- 2位 平成トンネルズ
- 3位 松川ファイターズ
- △トーナメント戦▽
- 1位 松川ファイターズ
- 2位 平成トンネルズ

まつかわ大学第3講座

人と関わり自分を知る

今回の講師は、旅人・エッセイストのたかのてるこさん。神社仏閣で皆さんは何をお祈りしますか。「家族や自分が幸せでありますように」等、個人的なお願いをしがちですが、仏教が行き届いているチベットでは、世界中の平和を祈



ります。いいことをすれば自分にいいことが返ってきて、悪いことをすれば自分に悪いことが起こるといいます。

旅をするたかのさんの周りには自然と大勢の人々が集まります。それは、たかのさんが現地の方を理解し仲良くなりたいという気持ちが強いのと、人と関わることにより自分を知ろうとする姿勢があるからなのでしょう。変えることができない過去のことに悩んだり、どうなるかわからない未来のことを考えるよりも「今を大切に生きる」ことに全力を注いで欲しいと話されました。



平成25年秋の叙勲で、古町中部の堤久さんが瑞宝双光章を受章されました。堤さんは、長年にわたって、教育に携わってこられた功労が認められ今回の受章となりました。長野市生まれの堤さん。39年



瑞宝双光章を受章

堤 久さん (古町中部)

にわたる教員生活の始めは、小谷村の中土小学校。小谷村といえば雪深いところですが、ある家庭訪問の折りに、まっ白な雪の中で咲く雪椿を見られたそう。その赤と白のコントラストの妙に感動され同僚の先生に話したところ、下伊那の方には雪椿がある、と教えられたとか。3年後には希望されて下伊那の小学校に赴任。目にされた雪椿は、色の対比の強さは無いけれどやわらかな陽光を浴びた温かさに溢れていたそうです。この雪椿がなければ、今回のお話をうかがうこと

も無かつたかもしれないですね。就職を退かれたあと、10年ほど前から飯田市川路の「天竜川総合学習館かわらんべ」で講師をつとめられています。年間100回余りの講座には子どもから高齢者まで多くの人が訪れ、さまざまな自然体験や工作などに取り組まれているそうです。堤さんは、来館される子ども達にたいして、どれだけの事ができるか、期待に応える講座だったか、終わった時の表情はどうか、と心を向けられています。「反省と楽しみのくり返しです」と控え目な笑顔で話される堤さん。ますますのご活躍をお祈りいたします。

こころの詩

さけんじやう
東小3年 遠藤 雨里
朝の時間に友だちと
シーソーをして遊ぶ
シーソーをこいでい
ると

何でかたんでしまっ
ただけとつても楽しい
とんだ時に「ギャー」と
大声でさけんじやう
とんだはずみで

シーソーがこわれそう
シーソーも「キョキョ」と
さけんでいるように聞こえる
だけども楽しいから
朝の時間に
みんなでシーソーをして
遊ぶんだ

ムカシトンボとりたいた

東小3年 橋場 郁遥

私たちは教室で
一ぴきヤゴをかつている
まつ黒なヤゴ
間沢川でとつたんだ
ヤゴの中で一番すごいのは
ムカシトンボ
私はそう思っている
川がきれいじゃないといない
一回、友だちがとつたんだ
「私もとりたい」と思った
けれどなかなかみつからない
どつしてもとりたいな
チャンスは冬だ
久保田先生が
水生昆虫は冬に出るつて
教えてくれた
寒いけど、がんばるぞ

短歌

米山恵美子(大栢南)

場内は森林を吹く風となる
乙女奏ずるチェロの調べに
バイカル湖に大き隕石落ちしこと
地球終わりを神の告げしや

麦の穂が風に激しく靡きいて
ゴッホの筆致に光が走る
ボストンの爆破事件を報じいる
言葉は問いに一拍遅る

カルテット終えたる舞台に残りいる
四脚の椅子静まりてあり

川柳

水野有泉(大島南部)

台風が 日本列島 又攻める
神仏 幸せたのむ 五円玉
痛い足 引きずりながら ゆく冥土
椅子無けりや 立てない爺は 這って立つ
百才を 生きた婆さん こたつ抱き

声

東北支援祭り

商工会青年部 赤須 圭一



まちの石仏 ㊟ 「道祖神」(中山ネズミ尾)

祝言の衣装でお神酒徳利を持っている双体道祖神。永遠の愛や子孫繁栄の祈りも込められている。



上大島公民館と商工会青年部とで、2回目となる東北支援祭りを、10月27日(日)に松川インター選果場「もなりん」で行いました。今年は、サンマ・ホタテ・カキなど海産物をメインに、その他にも飲み物、焼きそば、焼き鳥を青年部で出店させていただきました。台風27号の影響が心配されましたが、当日は天候に恵まれ、サンマも特大サイズが水揚げされ送られてきて一安心しました。大勢の方にご来場いただき、サンマ・ホタテを買っていただいた方には、



気仙沼から来た特大サンマ

公民館の方がカキを無料で振る舞い、サンマ・ホタテは自分で焼ける場所も作り、多くの方が自分で焼いて食べてい

ました。希望される方には青年部で焼いたものを買っていただき、みなさんおおいしそうに食べていました。仕入れたサンマ・ホタテも、おかげ様で10時開店後、12時半ころに

牧之原公民館交流会に参加して

名子区会長 鎌倉 忠一

恒例となりました牧之原公民館との交流会が今年も開催されました。

今回は、こちらが訪問すること、11月16、17日の両日、

佐々木地区館長さん以下13名が出掛け、楽しく親しく交流会に参加して来ました。

1日目は、あちらで盛んに行われているグラウンドゴルフを行い、旧交を確認しました。

2日目は、広大な牧之原台地の茶園を見学し、お茶カフェと言われる茶園農家におじゃまして、農家の方からおいしいお茶を入れていただき、お茶栽培にかかわる苦労話などをお聞きしました。

台地には水がないためにお茶栽培が行われ、今日の見渡すかぎりの茶畑が出現したとのこと。水には苦労して、水道水は遠く平地の川

は完売ということで大成功で終わったと思います。これからも、第3回、第4回と続こうに行なっていければうれしいと思います。本当にありがとうございました。

から汲み上げているようです。信州松川のおいしい水を日々飲んでる我々は幸せだなと思いました。

そして、昼食は、おさしみなど海の幸をいっぱいおいしくいただきました。

このように素朴で楽しく交流を深め、海の幸のおみやげもいっぱい買って松川へ帰りました。



グラウンドゴルフで旧交を深める参加者

2022年

友人から手紙が届いたのですが、一緒に郵便局から料金が不足しているのでも不足分をお支払いいただくか受取拒否するか...という紙がついてきました。手紙と一緒に小さなちよつとした物を入れてくれたのですが...こういうことは初めてで「何これ?」と思いました。なぜ受取る私あてに不足分を払うようにきたかという友人が自分の名前しか書かず住所を書いてこなかったからです。不足料金はたいした金額ではないし、喜んでもらうと送ってくれた友人に伝えることはできないし、不足分を支払いました。実際入っていた物は不足料金にも満たないような物ですが友人の気持ちはいれなく思いましたが、不足分のことかなければもっと素直に喜ぶことができたと思います。友人が悪いというのではなく、このメールやラインなどネット社会で手紙などなかなか出す機会も少ないですが、自分が出す時には基本的なことやちゃんと書いたり、料金は確かめて、気をつけなければいけないと思いました。

手紙ではないですが、これから年末にかけて年賀状を書かなければいけない時期。めんどくさいと思いつつ、もううとやはりうれい物。年に一度のやりとりの人も多いので気持ちをこめて書きたいと思

(宮崎亜希子)

公民館報
「まっかわ」
第 602 号
平成25年12月15日

発行所 松川町公民館
責任者 矢澤 登
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)